



はぐくみ

心ゆたかにたくましく 笑顔であいさつ！

立花北小学校 校長室だより
令和7年7月18日発行 No.3
「子どもと一緒に学ぶ夏」
発行者：佐野 正信

夏休みの三つの宿題 「家族」「地域」そして「いのち」

一学期間、本校の教育にご協力を賜り、有難うございました。終業式では、子どもたちに「三つの宿題」のお話をしました。

1 家族の一員としてしっかりお仕事を！

みなさんは夏休みでも、毎日暑い中、大変なお仕事に出かけられるお父さんやお母さんも少なくないと思います。今こそ掃除当番・給食当番・委員会活動など、学校で学んだことを生かし、自分の仕事をしっかり決めて、いつもやってもらってばかりのご家族にお返しができればいいですね。そして、夏の終わりに「今年の夏休みは、助かったよ。」と笑顔で話されるお父さんやお母さんが増えたらいいな…と思います。

2 自分たちの住む地域(まち)の魅力を再発見！

夏休み、涼しい部屋でばかり過ごしていないで、暑くても外へ出て過ごすことも大切です。今井公園や北カリカ工公園では、今年も地域の方々が「ラジオ体操」や「盆踊り大会」を計画・準備してくださっています。ぜひご家族と参加して、地域の沢山の方々とお話してみてください。そして、自分たちの住むまちのよさにいっぱい気づいてほしいと思います。



3 一番大きな宿題は、自分の「いのち」をしっかり守ること

何より大切な宿題は、自分の命をしっかり守ることです。夏休みの間、ご家族と一緒にいる時ばかりではないと思いますので、「交通事故」「水の事故」「熱中症」など、身のまわりにある危険からしっかり自分の「いのち」を守ること、このことが夏休みの一番大きな宿題です。始業式には、元気な顔でまた会いましょう！

こどもがやりたいことを一緒に楽しむ夏に！

今年も子どもたちにとって長い夏休みが始まります。ご家族におかれましては、お休みを取るのとは簡単ではないことと思いますが、それでもお子さまと過ごす時間を日頃より少しだけ多めに取っていただけたら…と思います。

もしよろしければ、お子さまと一緒に自由研究や作品作りを楽しみたいかがでしょう。私事ですが、今はすっかり大人になった三人の子どもたちの小学生時代には、仕事の合間に様々な研究に付き合いました。海水浴に行った竹野海岸の海水と須磨海岸の海水とで作った塩の味くらべをしたこと。一度は絶滅したコウノトリが大陸から再び渡って来たことをニュースで知り、双眼鏡片手に実際に豊岡の田園へ探しに行っこと。恐竜化石の発掘体験が先着順でできることを知り、前日から福井の恐竜博物館前にテント持ち込んで並んだこと。教科書に出てきた金子みすゞさんの詩に感動し、こんな素敵な詩がいったいどんなところで生まれたのか…と、山口県・仙崎のまちを訪れたこと。社会の授業で初めて聞いた「特攻隊」のことを山口県・大津島や鹿児島県・知覧の基地まで調べに行ったこと。安政南海地震で多くの村人を大津波から救った濱口梧陵のことを知り、和歌山県・広川町の濱口梧陵記念館と今でも残る手造りの防潮堤を見に行ったこと。そして、小泉首相の靖国参拝に猛抗議する中国・韓国の人たちの様子を報道を見て、本当に現地の人は皆怒っているか…と韓国まで確かめに行ったこと。それらを通して、テレビやインターネットで切り取られた情報を鵜呑みにするのではなく、足を運んで実際に自分の目で見て、人と話をして初めてわかることが沢山あることを経験しました。子どもと一緒に大人も学ぶよい機会となり、今となっては楽しく懐かしい思い出です。小学校時代の学びは、その後の学びにつながる貴重な経験となります。素晴らしい研究でなくても、選ばれる作品でなくても構いません。ぜひ、お子さんのやりたいことにつき合い、一緒に自由研究や作品作りを楽しんでいただけたらと思います。



校長 佐野 正信